

# 部会だより

## 健康・福祉部

「地域で支え合う健康と福祉のまちづくり」

年間計画は前号(53号)でお知らせしておりますが、コロナ禍のため、いろいろな事業が中止となっている中、予定通り、第1回館長杯市辺シニアグラウンドゴルフ大会を9月9日(水)布施公園で開催しました。市辺コミセン、市辺地区社協と協力し合って参加者74名のもと盛り上がり無事終了することができました。ありがとうございました。

12月2日(水)には市辺地区80歳以上の高齢者を対象とする「ご長寿ふれあいサロン」を市辺コミセン、市辺地区社協との共催にて開催予定しております。対象となる皆様のご参加をお待ちしております。

10月30日(金)午後7時30分より市辺コミセンホールで「福祉講演会」がありますので地域福祉等の話を聞きに来てください。

## 安全・安心部

安全・安心部は夏期の防犯パトロールに参加させていただきました。引き続き年末の防犯パトロールにも参加を予定しています。

また、市内の小中学校への『減災カルタ』の配布を予定しています。これまでに最終的な内容の見直し作業を終え、現在は市辺コミセンにてカルタの制作を進めています。こうした簡単なカードゲームを通して子ども達が防災・減災に少しでも関心を寄せてくれることを期待しています。

今後の取組みについては、次の2点を考えています。

- ①防災・減災関連書籍コーナーをコミセン内に設置
- ②救命(AED)講習会の開催

救命講習会は年度末の2月頃を予定していますが、新型コロナウイルスの状況を慎重に踏まえて今後判断してまいります。

## 地域活力部

当部の活動は、幸いコロナ感染とはあまり関係がないようです。

本年は梅雨が長く続き特に7月の長雨で、雨に弱いムラサキの全滅を覚悟しましたが、船岡山の斜面に植えたこともあってか、今月上旬で半数程度生育しています。今後小さい白い花が咲き、10月下旬には少しでも種子の収穫を期待しています。

さて、全国の有名な観光地には、電車やバスの最寄り駅までの時刻表が、ビジターに分かりやすい場所に掲示しています。ビジターにはスケジュールが立てやすく、私も以前、日光東照宮で助かりました。

近江鉄道八日市から近江八幡間では太郎坊宮とともに万葉の森船岡山にも是非時刻表を設置していただきたいと思っております。



## 自然・環境部

コロナ禍で多くの事業が中止される中、当部は主に野外での活動でもあり、ほぼ予定通り実施しました。作物の手入れには旬があるし、暑くても雑草はよく伸びるので、放っておけないのです。コロナに加え熱中症も気をつけながら作業しました。植えつけ当初の日照りで心配した「さつまいも」も、その後の雨で順調に育ちました。園児たちの芋掘りは10月22日(木)の予定です。(雨天の場合は11月6日(金))。

恒例の見学研修に替えて、今年は環境講習会を行います。詳細が決まり次第お知らせしますが、多くの方に環境について学んでいただく機会にしたいと思っております。環境は現在だけでなく未来に影響します。今日の私たちの暮らし方で子孫に良い地球環境を贈りましょう。

## 歴史・文化部

コロナ禍の中でいろいろ気を揉んでいましたが、4回の部会で協議を経て、次のとおり開催致しますので、多数の参加をお待ちしています。

### 御代参街道を歩く(最終回)

日時	令和2年11月21日(土)
	午前8時15分集合
集合場所	布施公園
参加定員	30名
詳細	案内チラシをご覧ください。

### 市辺歴史発見塾(第1回)

日時	令和2年12月6日(日)
	午後1時30分~午後3時
演題	保内商人について
講師	中島伸男氏(前八日市郷土文化研究会会長)
参加定員	60名
詳細	後日、案内チラシでお知らせします。

※保内商人とは中世の頃(1400年代)、保内郷(金屋・中野・今崎・今堀・蛇溝・東市辺・小今)でこのほか、三津屋を含めた商人です。蒲生郡の村落から伊勢国へ通じる八風街道・千草街道の村落の足子らをつかって保内商人団を形成して活動していた。

## 編集後記

今年も7月には九州地方や東海地方で豪雨災害がおきました。

また避難場所もコロナウイルス感染でのソーシャルディスタンスも必要になり、避難場所も制限があります。いづどこで、あのような災害が起こるかもわかりません。有事に備え東近江市のホームページで住むまちの洪水箇所、避難場所の確認が必要です。

また、冬場に流行するインフルエンザとコロナの区別が付きにくいと指摘されています。「三密」を避け換気を徹底して、この冬を乗り越えたいものです。



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

# 万葉のまち 市辺

第53号

令和2年10月



「新型コロナに感染してはいけない!」と  
コミセン前の二宮金次郎さんもマスクを!



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391  
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392

Facebook



ホームページ



## 新型コロナウイルス感染拡大防止

# 「新しい生活様式の中での健康づくり」

まもなく、寒い冬がやってきます。今冬は、例年の風邪やインフルエンザに加えて新型コロナウイルス感染症の流行が、皆さんの暮らしや、医療提供体制に大きな影響が出ることが予測されます。これまでもお願いしてきましたが、「3つの密（密閉、密集、密接）の回避」や「手洗い、咳エチケット（マスクの着用等）の実施」、「定期的な清掃、十分な換気」など、引き続き感染拡大防止を心掛けてください。また、今年度東近江市では、インフルエンザ予防接種に対して、接種費用の助成があります。希望される人は早めに医療機関にお申し込みください。

（費用助成の対象）

①65歳以上の高齢者（60歳から64歳の心臓、腎臓、呼吸器、免疫の機能に障害がある方も含まれる）

②妊婦、生後6ヵ月から中学3年生までの子ども

※詳しくは、市ホームページ、市広報等でご確認ください。

感染症を恐れ、外出を過度に控えると、体や心のフレイル（健康な状態と要介護状態の間のこと）を招く危険性があります。散歩や体操で体を動かし、密を避けながら人と交流をして、フレイルや認知症を予防するとともに、感染症に負けない体づくりをすることも大切なことです。また、口の中を清潔にし、嘔むことや飲み込むことの衰えを防止することは、感染症を予防するうえで非常に重要です。歯磨きや義歯の手入れ、適度なおしゃべり、よく噛んで食べること等、お口の健康にも心掛けてください。

最後に、新型コロナウイルスの感染者やその家族、医療従事者等への誹謗中傷が後を絶ちません。誰もがいつ感染するか分からない病気です。悪いのは病気そのものであり、かかった人ではありません。感染の危険を顧みず、皆さんの生活や医療を支える職種の皆さんへのねぎらいの気持ちも忘れずにいたいものです。

（東近江市健康推進課）

## まち協役員会で後半の取組みなど協議

9月14日（月）コミセン会議室において、まち協「役員・専門部長合同会議」が開催されました。

議題は、コミュニティセンター指定管理更新についてです。平成23年10月1日に市辺コミュニティセンターの指定管理業務を開始し今回で4回目の更新期を迎えます。令和2年9月15日に指定管理者指定申請を行う旨報告があり関連資料が示されました。なお、今回更新期に「実費弁済方式の適用※」を外すことも併せて報告と方向の確認がされました。

つづいて、各専門部ならびに減災連絡会から令和2年度の事業の進捗及び今後の取組みなどが報告されました。

※まちづくり協議会も収益の伴う地域に必要な事業ができ、地域の課題解決につながる。

## コロナウイルス感染対策

ゆいの杜・こども園では、登園時は職員、保護者、園児（3歳以上）はマスク着用し、手の消毒をしております。また、検温は家で朝夕はかり検温ノートに記入し、担任の先生へ提出する。もちろん職員も検温されているそうです。



また、朝の会（歌）の時間は、担任はマウスシールドを着用し園児と共に歌唱しています。園児は手洗いを励行し、職員は触れた所を消毒しつつねに換気をされて、ランチタイム時の机にはアクリルボードを設置し飛沫防止に努めておられます。

## 「減災カルタ」が新聞取材受ける



（出典元 2020年9月11日付 読売新聞）  
8月14日、減災のまちづくりプロジェクト（現在「減災連絡会」に継承）立ち上げから関わられた榎木貞夫さんと同メンバー10余名が取材を受けました。

記事には、40人のプロジェクト立ち上げの経過や、この間の活動や「減災カルタ」に込めた思いなどを報じています。

## 「ふれあい学級」始まる

新型コロナウイルスの感染防止で自粛されていた「ふれあい学級」が9月18日（金）に始まりました。

登録数43人のうち36人（関係者含め39人）が参加され盛況でした。

この日は、講師に笑局斎清一氏を迎えマジックを楽しみました。



## 子ども健全育成部 「手作りしおり」を作成

今年度はメンバーもほとんど入れ替わったこともあり、「子どもたちのためにできる活動は何か」を考えるとところからスタートした結果、「手作りしおり」を作成・配布することが決まりました。

しおり作成が初めてのメンバーも、得意なメンバーが引っ張ってくれたおかげでどんどん楽しくなり、気がつけばバラエティーに富んだたくさんのしおりが完成していました！

このしおりは文化祭期間中の11/7（土）～11/8（日AM）に市辺コミセンで無料配布しますので、ぜひお気に入りのしおりを見つけてください。

なお、当日は「ワクワク手作りしおりキット」も同時配布します。作成道具とテーブルも用意していますので、自分だけのオリジナルしおりを作成してみませんか？「特大しおり」が目印のブースで皆さんのお越しをお待ちしています(^\_^)



### 広報部主催「写真のとり方」勉強会にご参加を!

日時 11月10日（火）10:00～11:30  
場所 市辺コミュニティセンター「和室」  
参加費 無料 お申込みはまち協事務局まで!

講師は「大谷洋史さん」(八日市フットクラブ・代表)

## このまち「この人」

左官工芸 三津屋町 久保安男さん



三津屋町、久保安男さん宅へ訪問。色々お話を伺いました。左官職人になろうと志を立て、昭和32年4月師匠の元で5年間修業され、昭和37年4月「久保左官工芸」を設立、晴れて独立されました。久保さんは自分の左官技術を磨き上げ、昭和48年国家資格一級技能士取得。また、職業訓練指導員免許取得により平成6年6月から12年間若手左官指導育成のために職業訓練校講師を務められました。左官業界の発展のため、幾多の役員を歴任。平成13年5月には左官業の功績で第10回優秀施行者として国土交通大臣

## 第1回館長杯 「市辺地区シニアグランドゴルフ大会」開催

9月9日（水）布施公園においてシニアの皆さんに屋外スポーツを楽しみながら健康寿命を延ばす一助となればという趣旨で下記団体の協力で開催されました。

主催、市辺コミセン、共催、市辺地区社協、市辺地区まち協健康福祉部。開催にあたってはコロナ禍の中なので大丈夫かと思っておりましたが、関係団体の皆さんの熱意また参加者74名の「コロナ吹っ飛ばせホールインワン」の意気込みで無事開催することができました。開会式では木田館長、平尾社協会長の挨拶、大会ルールを市辺グランドゴルフ同好会安井さんの説明があり、14組がA、B各コースで分かれ、午前8時過ぎ木田館長のスタート合図で一斉に32ホールのゲームが開始されました。館長杯は誰の手に!!競技終了後、集計作業を行い、閉会式では成績発表と表彰式が行われました。



館長杯は男女総合優勝の大橋照美さん（布引台2丁目）が晴れの栄冠に輝きました。

男子の部（敬称略）	女子の部（敬称略）
1位 大橋照美（布引台2丁目）	1位 森綾子（西市辺）
2位 大久保善市（布施）	2位 安井貞子（布施）
3位 苗村幸夫（布施）	3位 田原洋子（布施）

表彰式の後、お楽しみ抽選会があり楽しいひと時を過ごし、最後に市辺地区まち協須田会長の閉会挨拶で散会となりました。なお、朝早くからコース準備・競技運営にご協力いただいた市辺グランドゴルフ同好会役員の皆さんありがとうございました。御礼申し上げます。

顕彰をはじめ数々の団体から受賞されておられます。

代表的な仕事を伺ったところ、信楽焼古陶館新築（土蔵イメージの外壁ナマコ壁の施工）、御沢神社庭園「東屋（あずまや）」（擬木、擬板で全て施工）、五個荘重要伝統的建造物保存地区である金堂地区の土蔵等漆喰工事施工、東近江市住宅等修景補助事業の荒松紙店外壁漆喰施行、等と言うことでした。なお、写真で紹介されている作品は漆喰彫刻というもので素晴らしい芸術作品です。

久保さんの趣味はカラオケとグランドゴルフ。現在市辺コミュニティセンターで月2回「えんか」クラブ同好会でカラオケの先生をされています。健康維持のためグランドゴルフにも一生懸命です。

